7　芸術（美術）

学校番号	３００４

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー （毎時間行う）	○ ○	 ○	 ○	○ 	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、対象をよく観察し表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	イニシャルを用いた色彩構成	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 配色カードを用いて明度・彩度・配色を考える。構成等を工夫し表現する。	○ ○	○ ○	○ ○		a:四角と丸とアルファベットという３種類の図形を使って、画面全体のバランスやよい構成を形や色彩などの働きを考えながら、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

	オリジナル紙袋を作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・紙袋の鑑賞 ・アイデアスケッチ グループごとに目的やテーマを決める。 テーマに沿った紙袋デザインを各自で考える。 ・アイデアスケッチの相互鑑賞（班） ・制作 アクリル絵の具、スタンプ等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（全体）	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	a：生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c：目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d：作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	グループ鑑賞（日本の美術）	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品を使って、ペアで鑑賞、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・ワークシートを作る。	○ ○ ○			○ ○ ○	a：日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d：日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	オカリナ制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・オカリナとは ・制作 陶芸土で成形する。 焼成後、アクリル絵具で着彩する。 ・相互鑑賞 （実際に演奏する）	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	 ○	a：楽器の形が持つ機能美やデザインの美しさを感じ取ろうとしている。 b：表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c：陶芸土やアクリル絵具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d：よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 制作ワークシート 鑑賞 作品

	写真を用いたアニメ表現	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ（絵コンテ）を作成する。 ・班で協力してカメラで撮影をする。 ・コンピュータで編集を行う。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:目的を基に写真やコンピュータなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c:カメラやコンピュータ、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d:映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
3学期	刻字	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に文字を決める。 ・構想を基に自分の表現意図に合う彫り方を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

	制作発表	【鑑賞】 ・グループ単位で自分たちの制作した作品の展示について考える。 ・作品説明や展覧会名等を考え、キャプション等を作る。 ・制作展を開き、展覧会の意図等を説明し合う。	○ ○ ○			○ ○ ○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。